



BMW.WilliamsF1 Team

RaceMail

モナコ・グランプリ（2005年5月19日～22日）－プレビュー

富と名誉を手に入れた人々の社交場として知られるモナコ公国。フォーミュラ・ワンの世界で至宝に例えられる開催国で、2005年F1世界選手権第6戦目となるモナコ・グランプリが来週開催されます。

現在、コンストラクターズ・タイトルで4位につけているBMW WilliamsF1チームは、FW27に施した空力面の改良と、今週、モナコGPの舞台となる地中海沿いの狭くてコーナーの多い市街地コースによく似た条件を備えたイタリアのヴァッレルンガで行われた集中的なテストの結果に期待を寄せています。全シリーズ中で最も過酷なコースとも言われるモナコGPは、予選の結果と卓越したレース戦略が好成績につながる半面、わずかなミスが命取りになります。モナコで過去3勝し、2003年にモントーヤのドライブで優勝したBMW WilliamsF1チームは、これまで以上に実り多い結果になることを期待しています。

マーク・ウェバー

モータースポーツの歴史に深く関わるモナコGPに匹敵するレースは、他にはありません。ここでは数多くの名勝負が繰り広げられ、数え切れないほどの伝説が生まれました。ドライバーにとって、モナコは比較的低速のコースにもかかわらず集中力と体力が非常に重要な意味を持つため、シーズン中最も挑戦的なレースになります。またミスの許されるゆとりがほとんどなく、わずかでもミスを犯せばたちまち大きなアクシデントにつながるので、精神面でもここは非常に厳しいコースと言えます。モナコGPはコース・コンディションがめまぐるしく変化するため、チームにも多くの課題を与えます。起伏が激しく、路面の段差が多いので、できる限り快適にドライブする必要があります。しかし快適なマシンが常に速いとは限りません。最良のバランスを見つけることが大切です。

ニック・ハイドフェルド

モナコは、今シーズンのレースの中で最も難しいコースであることは間違いないでしょう。僕はこのコースが好きなので、ここでレースを戦えるのが楽しみです。モンテカルロの街を駆けぬけるのは本当に気持ちが良いので、このレースが今年も組み込まれたことをうれしく感じますし、これからも長く続くことを望みます。安全面の問題を指摘する人もいますが、ここを走るのは本当に楽しいのです！

僕にとってモンテカルロはF3とF3000時代に優勝したこともあり、いい思い出のあるコースです。

サム・マイケル（BMW WilliamsF1チーム、テクニカルディレクター）

モナコGPを前に、FW27の空力エアロダイナミクスをさらに強化しました。またこの1週間、モナコGPに備えてイタリアのヴァッレルンガでテストを実施しました。主にミシュラン・タイヤを集中的にテストしましたが、セッティングや冷却システムのチェックと、スタートのテストも行いました。

モナコはタイトな市街地コースです。ソフト・コンパウンドのタイヤによって、大量のラバーが路面に付着するため、週末にかけてタイヤのグリップ・レベルが飛躍的に上昇します。今年は1セットのタイヤでレースを走り切らなければならなくなつた

Media contact:

WilliamsF1
Liam Clogher
Tel: +44 1235 7777 06
liam.clogher@williamsf1.com

Silvia Hoffer
Tel: +44 7977 275 838
silvia.hoffer@williamsf1.com

BMW
Jörg Kottmeier
Tel: +49 170 5666112
joerg.kottmeier@bmw.de



BOYSEN
INNOVATION & ANALYTIC TECHNOLOGY

Dräxlmaier



GORE-TEX®



MICHELIN

O₂

OZ RACING RIMS

PPG

PUMA

WURTH

Budweiser
King of Beers

Castrol

FedEx

Hamleys

ORIS
Swiss Watches

PETROBRAS

REUTERS



BMW.WilliamsF1 Team

Race Mail

ため、こうした傾向はやや変わるかもしれません。モナコでは事実上、追い抜きができませんから、レース戦略が重要な要素となることでしょう。

マリオ・タイセン (BMWモータースポーツ ディレクター)

モナコではまず予選で上位になること、次いでスタートが重要です。公道レースでは、通常、路面の摩擦係数が大きく変動するため、適正なグリップ・レベルを見つけるのが難しいのです。ヴァッレルンガのテストでは、スタートの練習に重点を置きました。ドライバーの素早い反応とクラッチの正確なコントロール、そしてトラクション・コントロール・システムによる最適な加速が組み合わさって、初めて良いスタートが可能になります。

モナコはエンジン・パワーだけでは勝てません。しかし比較的低い回転域で、優れたドライバビリティを発揮すれば、大きなメリットとなります。コースが改裝されたことで、港に面したラスカス・コーナーは以前ほどタイトではなくなりました。昨シーズンのF1で、エンジン回転数を5,000 rpmまで落とし、1速で走るコーナーは、ローズ・ヘアピンだけでした。ひとつ気がかりな点を上げれば、来年はこのような走り方をする必要のあるコースで可変式吸気マニホールドを装備できないことです。現在は吸気マニホールドの長さを調節することで太いトルクを生み出すことができますが、このテクノロジーは将来のV8エンジンでは禁止される予定です。

レース基本情報

サーキット名 / 開催日	シルキ・ドゥ・モナコ / 2005年5月22日
スタート時間 (現地時間 / GMT)	14:00/12:00
全長 / 周回距離 (周回数)	3.340 km / 260.520 km (78周)
2004年度優勝者	ヤルノ・トゥルーリ (マイルドセブン・ルノーF1チーム)
2004年度 ポール・ポジション	ヤルノ・トゥルーリ、1:13.985分
ラップ・レコード	ミヒヤエル・シューマッハ (スクーデリア・フェラーリ・マールボロ)、1:14.439分 (2004年)
F1統計データ :	
BMW WilliamsF1 チーム	出走: 90回、優勝: 10回、ポール獲得: 16回
2000年以前のWilliamsF1	出走: 356回、優勝: 103回、ポール獲得: 108回
2000年以前のBMW	出走: 97回、優勝: 9回、ポール獲得: 15回

Media contact:

WilliamsF1
Liam Clogger
Tel: +44 1235 7777 06
liam.clogger@williamsf1.com

Silvia Hoffer
Tel: +44 7977 275 838
silvia.hoffer@williamsf1.com

BMW
Jörg Kottmeier
Tel: +49 170 5666112
joerg.kottmeier@bmw.de

2005年戦績	マーク・ウェバー			ニック・ハイドフェルド		
	予選	決勝	ポイント	予選	決勝	ポイント
オーストラリアGP	3位	5位	4	7位	事故	-
マレーシアGP	4位	事故	-	10位	3位	6
バーレーンGP	5位	6位	3	4位	リタイア	-
サンマリノGP	4位	7位	2	9位 (G8)	6位	3
スペインGP	2位	6位	3	5位 (G17)	10位	-

※G: グリッド

BOYSEN
INNOVATION IN ANTI-THICKNESS

Dräxlmaier

GORE-TEX®

MAN

MICHELIN

O₂

OZ RACING RIMS

PPG

PUMA

WURTH

